

第2回 幼保小合同研修会だより

日時： 令和7年6月10日(火) 午後3時～午後4時40分

場所： 郡山市役所 特別会議室 (対面研修)

教育講演

「幸せに生きる力」を育む

～アセスメントで子どもの将来を見通す～

安部 博志 氏



講師紹介 元筑波大学附属大塚特別支援学校教諭 通常級、盲学校、小学校知的障害学級、特別支援学校で障害児教育の実践を積み重ねられました。また、地域の特別支援コーディネーターとして3万以上のクラスを巡回し、支援にあたってこられました。

令和7年6月10日に教諭、大学教授、地域コーディネーターとして障害児教育に携わってきた安部先生の講演が行われ、子どもたちの特性や課題を理解した上での具体的なアセスメントについて、先生ご自身の豊富な経験や実践をもとに具体的な事例を通してお話いただきました。子どもたちの行動にはそれぞれの特性による理由があるということ、特性を理解した上で支援策を考えていく必要があるということをお話いただきました。「特性を持つお子さんへの合理的配慮はもちろん必要だが、先回りした過剰な支援は、子どもたちの自発性・社会性を削いでしまうことにつながる」「彼らの将来を想像してアセスメントしていかなければならないということ」は、私たち支援者にとって忘れてはいけない重要なポイントだということを知りました。様々な教材を見せていただき、子どもたちが生きていく上で必要なスキルやコミュニケーション力を獲得しやすくするため、普段の生活の中に工夫を取り入れることが、彼らの真の自立につながることを知り、支援者としてたくさんのヒントをいただきました。当日は雨天ではありましたが、帰られる参加者の皆さんの表情が清々しく感じられた講演でした。当日は先生のお誕生日だったこともあり、参加者全員で大きな拍手で御祝い、御礼を表しました。



畳み方練習ボード



縄跳びスキル獲得補助具



アセスメントシート



お持ちいただいたたくさんの教材に、参加者は熱心に見入っていました。

アンケートより

*障害のあるなしに関わらず、どの子にとってもありのままの自分で良い、集団にいることが心地よいと思える環境作りや関わり方の大切さを学ぶことができました。*すぐに真似したい視覚支援や関わり方を知り、とても勉強になりました。*資料は写真が多くわかりやすかったです。発達段階アセスメントシート等は、ぜひ活用したいと思いました。*事例を踏まえてお話いただき、とてもわかりやすかったです。*成功体験の大切さ、見通しをもつことの大切さを改めて感じました。*発達障害児だけでなく、普段の保育活動や環境設定、子どもとの関わり方など参考になりました。*特別支援教育が学校の教育力を高めるといふこと、自尊感情の低下を食い止め、高めることができるという言葉がとても心に響きました。*「あなたがそこでそうしていることにも意味があり、私がここでこうしていることにもきっと意味がある」この言葉を聞き、お互いの違いを認め合う優しい世界になるよう努力していきたいです。